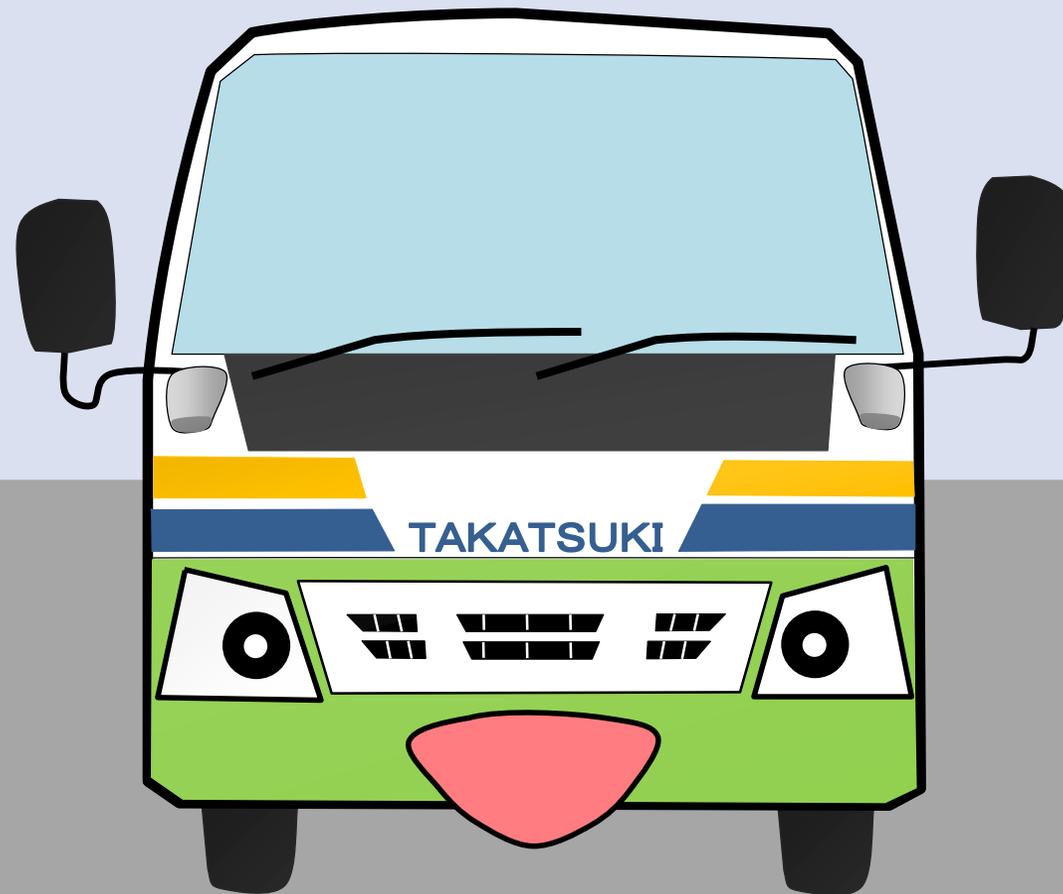


ごみをへらそう



たかつきし
高槻市

たかつきし 高槻市の1日のごみの量は？

たかつきし
たくさんの方が生活したり、働いている高槻市では、1日に約265トンのごみですてら
れています。ごみ収集車しゅうしゅうしゃに積む量で考えると、約88台分になります。

1

2

3

■ ■ ■ ■ ■

88台分



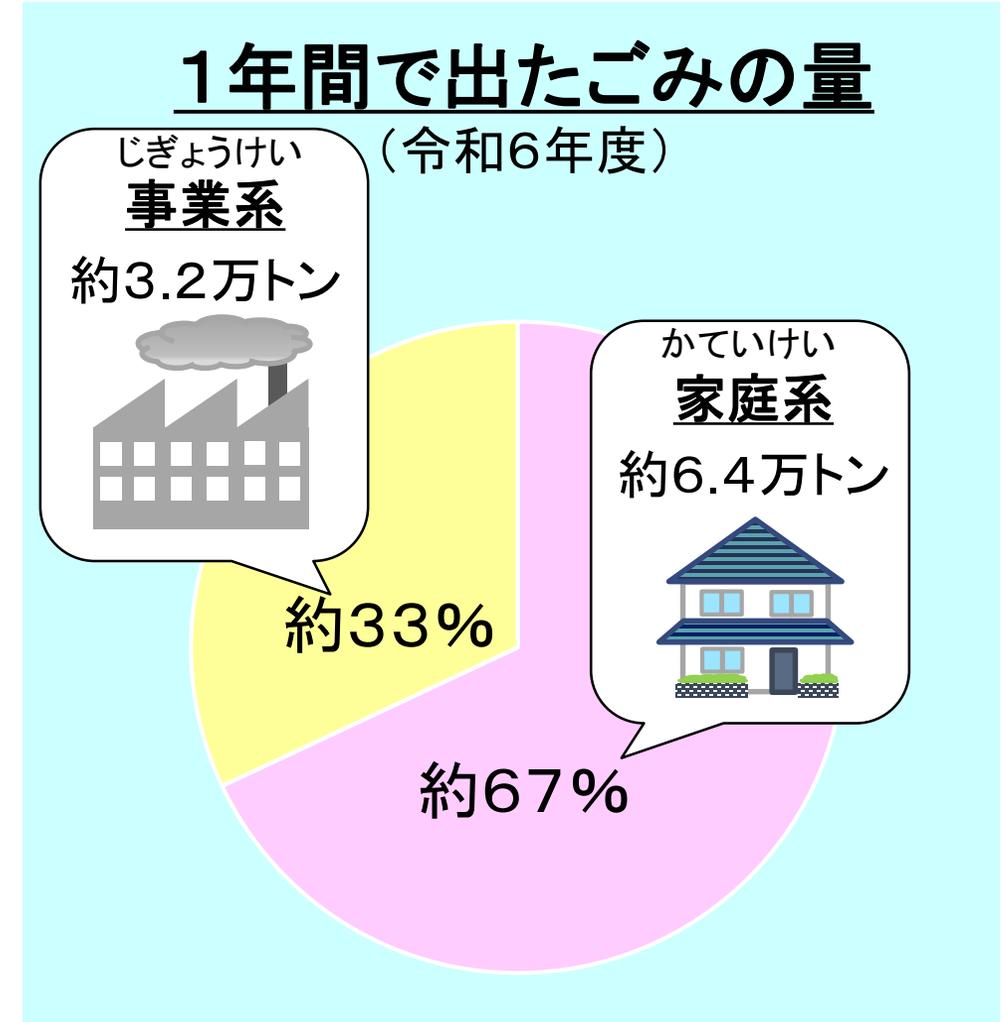
■ ■ ■ ■ ■



ごみはどこから出ているの？

エネルギーセンターに運びこまれるごみ
かていけい
 は大きく分けると家庭系と言われるわたしたち一人ひとりの家から出るごみと、じぎょうけい
 事業系と言われるお店や工場などから出るごみの
 2種類に分けられます。

1年間に出るごみの量はかていけい家庭系で約6.4
じぎょうけい
 万トン、事業系が約3.2万トンです。



ごみのへらし方は？

ごみをへらし、活かすために、覚えてほしい3つの言葉があります。英語で書くと文字の先頭がみんな「R」のため、3R(すりーあーる)とよんでいます。

3R(すりーあーる)

Rごみそのものをへらす
Reduce(リデュース)

Rごみにしないでくり返し使う
Reuse(リユース)

Rごみを^{しげん}資源としてもう一度使う
Recycle(リサイクル)

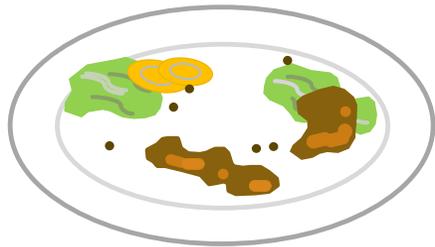


リデュースの取組(食品ロス)

日本で1年間に出るごみのうち、約3割は食べ物のごみです。まだ食べられるのにすてられてしまう食べ物を「食品ロス」といい、日本では1年間に464万トンもの食べ物がすてられています。これは、1人が1日にお茶わん1杯分の重さの食べ物をすてている計算になります。

食品ロスげんいんの主な原因

食べ残し



期限切れ



すてられる食材



食品ロスをへらすためには、食品を買いすぎないことや料理を作りすぎないこと、食べきれぬ量だけお皿に入れることなどが大切です。

リデュースの取組(食品ロス)

食品ロスをへらすためには、食品を買いすぎないことや料理を作りすぎないこと、食べきれぬ量だけお皿に入れることなどが大切です。また、食品のふくろや容器に^{ようき}表示されている、「^{しょうみきげん}賞味期限」と「^{しょうひきげん}消費期限」のちがいをすることも食べ物をごみにしないための方法のひとつです。

^{しょうみきげん}「賞味期限」と^{しょうひきげん}「消費期限」は何がちがう？

おいしく食べられる^{きげん}期限のことを…



^{しょうみきげん}
賞味期限

安全に食べられる^{きげん}期限のことを…



^{しょうひきげん}
消費期限

^{しょうみきげん}
賞味期限をすぎても、すぐに食べられなくなるわけではないよ。

リデュースの取組(食品ロス)

お店もごみをへらしています

スーパーでは、お惣菜^{そうざい}をばら売^{しょうみ}りしたり、賞味^{しょうみ}期限^{きげん}が近くな^{きげん}った商品を値引きしたり、飲食店では食べ残しがへるよう^{きげん}に少なめのメニューが選べるなどの取組をしています。高槻市^{たかつきし}では、このようにごみをへらそうとがんばっているお店や、リサイクル活動をしているお店を「たかつきエコショップ^{にんてい}」として認定し、PRしています。



リユースの取組(エコバッグ)

スーパーやショッピングモールなどのお店で買い物をするときには、エコバッグを持って行きましょう。レジぶくろをもらわずエコバッグをくり返し使うことは、リユースの取組のひとつで、ごみの量をへらすことにもつながります。



時代の波はリユースにあり？

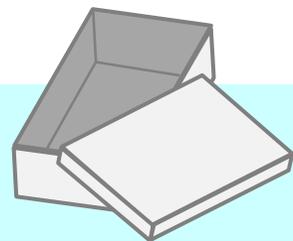
サイズが合わなくなった洋服を弟や妹にゆずったことはありますか。

必要なくなったものを「使う人を変える」ことで活かす活動をリユースといい、リサイクルショップやインターネットなどいろいろな方法で取り組むことができます。もし、必要なくなったものを手放すときや、新しく何かを買うときには、ぜひエコで^{とく}お得なリユースを考えてみてください。

リサイクルの取組しゅうだんかいしゅう（**集団回収**）

同じ地区に住む人たちが、時間と場所を決めて、リサイクルできるものをいっせいに
かいしゅうぎょうしゃ 出し、せいど しゅうだんかいしゅう 回収業者に取りに来てもらう制度を「**集団回収**」といいます。

たかつきし 高槻市では、自治会や子ども会などいろいろな団体だんたい しゅうだんかいしゅうが「**集団回収**」を行っています。



ざつ 雑がみのリサイクル



お菓しの箱やカレンダー、トイレトペーパーのしん芯などの紙でできているものをどのようにす
 てていますか？もし「もえるごみ」としてすてているのであれば、ちょっと待って！

それらは「ざつ雑がみ」として、リサイクルすることができます。

たかつきし 高槻市では、このざつ雑がみのかいしゅうりょう回収量が少なく、1年間で約5千トンものざつ雑がみが、もえるごみ
 としてすてられています。

まとめ

ごみを減らすカギは、「生ごみ」、「プラスチック」、「かみ」の3つです。必要以上にものを買わない。長く使えるものを選び、くり返し使う。使用しなくなったものでもリサイクルできるものはリサイクルするなど、まずは身近なことから始めてみよう！

みんなが取り組むことで、世界は大きく変わっていきます！



リサイクルにはたくさんのエネルギーやお金がかかるんだって。
まずは、手間のかからないリデュースやリユースを心がけよう！